

地域おこし協力隊活動実績報告書

隊員氏名：嶋田 翔伍

- ・活動期間： 平成31年4月1日～令和2年3月31日
 （委嘱日： 平成29年10月1日）

1. 隊員の活動テーマ

活動テーマ	定住促進
より具体的なミッション	<ul style="list-style-type: none"> ・ターゲットを明確にした情報発信のメディアづくり ・市を対外的に発信し、関心を向ける・若者が活動しやすいまちづくり ・地域活動のノウハウをシェアリングし、より良くしていく。（各イベントのゆるやかな連携、効果的な情報発信の確立）

2. 活動の検証

(1) 定住促進への直接的効果

移住等の相談を受けた件数	3件（ 3人）
移住希望者に現地案内などの活動を行った件数	0件（ 0人）
うち移住につながった（つながる可能性のある）人数	0件（ 0人）
具体的な相談の内容	京都を拠点としているフリーランスのカメラマンやデザイナー。どこかの地域に移住しながら、働きたいという共通の相談だった。

今後の展開や展望または反省点など	<p>同様の相談は昨年も受けたが、最終的な移住にはつながらなかった。面白い取り組みや魅力的な人たちがいることを発信していくなかで、こうした相談は少しずつ増えてきたような印象もあるが、仕事をしやすい環境があるかどうかをもっと伝える必要があると感じた。</p> <p>また、「どこでも仕事ができる」ことは「どこに根差すかを、かえって決めかねる」状況でもあることに気が付いた。</p>
------------------	---

(2) 具体的な活動について

活動を展開した地域数と名称	地 域 数： 3地域 地域の名称：（新庄、園部まちなか、鶴ヶ岡）
移住者受け入れや地域振興への意識が高まったと思われる地域数と名称	地 域 数： 3地域 地域の名称：（新庄、園部まちなか、鶴ヶ岡）
今後継続的なアプローチにより意識が高まる見込みの地域数と名称	地 域 数： 2地域 地域の名称：（新庄、園部まちなか）

活動内容	現在の課題	期待する成果・展望
新庄冊子の制作	冊子完成後に、できあがったものを知ってもらえるような仕組みづくりをする必要がある。	新庄地域への移住者増加
協力隊媒体の制作	いま地域が発信したいと思っている情報は何なのか、皆さんが使いやすいツールにする。	「南丹市を紹介するときには、これを渡せばいい」というわかりやすいツールになること
まちなかマップ制作	どのようなチームで、最終的にどのようなものをつくっていくのかすり合わせる必要がある。	「十分に自分たちの住んでいる地域が魅力に溢れている」ことを地域の人たちが再発見する。

3. 活動表

活動年	実績・効果、目標
1年目	<p>主なミッションである情報発信を進めるために、イベント企画や広報媒体・パネルの制作を行った。地域や田舎を主題にした情報媒体を作成するのは初めての経験だったが、地域の皆さんとも交流しながら、制作する方法が徐々にわかってきた。</p>
2年目	<p>「情報発信の補助」をより進めていった。自分たちだけで制作するのではなく、地域を巻き込んで、一緒に制作してもらえるように心がけた。</p>
3年目	<p>南丹市全域を対象にした媒体をつくり、南丹市の人であれば誰でも地域のことを他の人に伝えられるようなツールとしての冊子にしたい。また、協力隊として制作した冊子などについての作り方や効果を幅広く知ってもらうことで、広報ツールとしての力を最大化したい。</p>
任期後に得たい成果・変化（自分自身・地域・関係者）	<p>地域の魅力発信を、誰でも手軽にできるツールとして、制作した媒体を地域の残したい。人が減ったり、忙しくなったりしたとしても、「冊子」が効果を発揮して、力になってくれるようなものを残す。それとともに、「冊子」にそのような力があることを認識してもらえるようにしたい。</p>